



一宮歩こう会 青春の東海道歩き

かわら版 6号



記念すべき第1ステージは3月27日、京都三条大橋から大津市瀬田。スタッフ約30名が早朝6時30分から一宮駅に集まる。

受付開始は7時だが、早くも6時40分頃には集まり始める。これは予想通りでスタッフは6時30分の召集。早くも7時には堀田尾張一宮駅長さんも顔を出され激励、駅長さんはこのあとホームまで見送りに来られ一同感激である。

初めてのこととて、スタッフ一同自分の受持ちの仕事をこなすのに精一杯で、だれも写真を撮る心のゆとりなし。参加者のどなたか受付風景の写真があったらご提供ください。



全線完歩を目指す本隊と、道々名所旧跡を見て歩きたい観光隊の2班に分けることになった。

結団式などでいろいろ参加者のご意見を聞いてみると、【東海道約500キロをもれなく完歩したい】派と、【せっかくだから道中旧東海道の名所旧跡を見たい】派とあることが分かった。歩く距離も前派は20キロでも平気だが、後派は出来れば15キロまで位が望ましいようだ。そこで距離を縮めてその時間を地元観光ボランティアに案内してもらって観光隊を作ることになった。第1ステージの観光隊は46名、「古都大津ボランティアガイド」のご案内で、三井寺、琵琶湖疏水、大津曳山会館などを見学した。